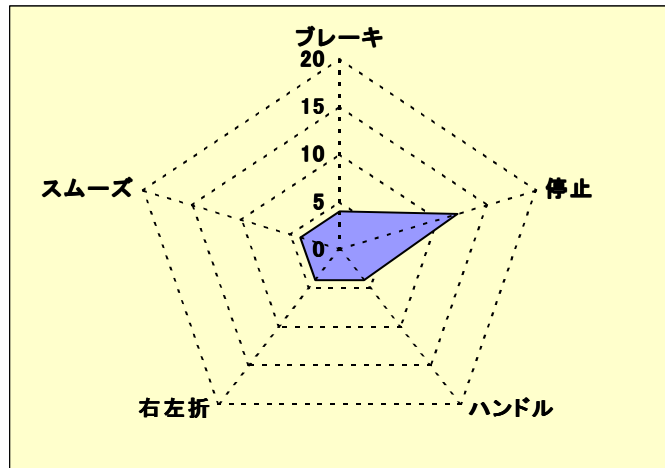


# SR導入の成果

同一運行で評価がまるで違う

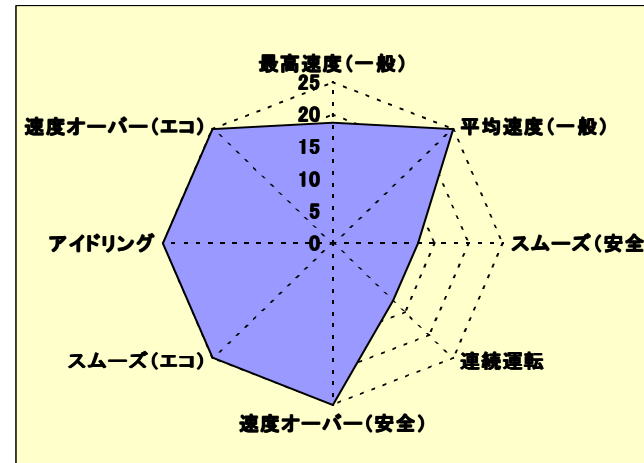
セイフティレコーダ (通称SR)



総合評価：28点

コメント：非常に危険な運転です。


デジタコ (通称)



総合評価：96.8点

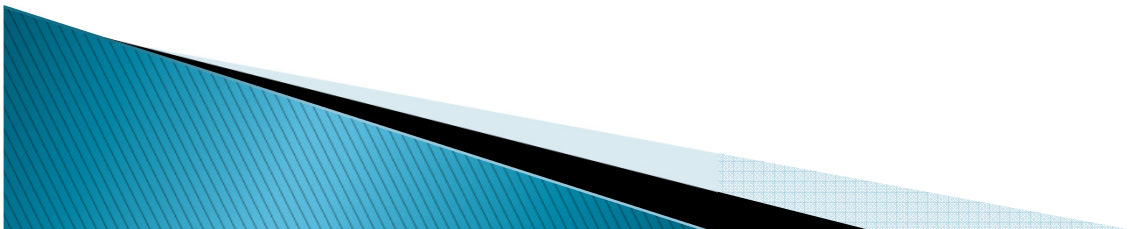
コメント：理想的な運転です。

# SR導入の決めて

- ◆ドライバーひとりひとりの運転状況がある程度わかるため燃料コストが削減できれば導入費用もカバーできるだろうと予測したから
  - ◆運輸マネジメントとの検討を始め、経営面、安全面、事故減少による効果として、費用削減も期待できる。また、他の会社で導入実績があり、結果を出している点も評価し、決断した
  - ◆他社製品と違って点数が数値化されることで、ドライバーの励みにもなるから
  - ◆事故防止を最重要項目に試着装し、エコドライブへの実施、燃料の向上も期待できることや、配送の効率アップにもつながることも視野にいれ、全車両導入に踏み切った
- 

## SR導入当初

- 導入時、ドライバーの中でいやだな、という気持ちは、なかったとは言えません。
- あの運転で点数が悪いのなら仕方がない。車輛や道路環境の影響だとあきらめていました。
- 大型は、良い点数が出て当たり前、大通りしか走らないし、車線変更もほとんどないから。
- 他の人の危険挙動や、注意挙動をみても、あまり感じなかったが、自分の映像をみて運転の荒さがわかりました。



# セイフティレコーダ導入でここが変わった

## ✓安全運転指導が大きく変わった

人を変えようと思ったら、怒るのでなく良い所をほめることから始めたら効果的

## ✓安全に対する競争意識が高まった

燃費を一覧表にした所、安全意識が高まり、もっと自分も頑張ろうという雰囲気傾向

## ✓指導マニュアルの作成に貢献

一つのマニュアルを作るにも、現場で得られたデータを生かす事で内容が深まります

## ✓社内での会話が増えた

ドライバーどうしでの運転に対する意識が向上した

## ✓詳細な映像で表示するから100%伝わる

SRVを導入により、映像を見ながらドライバーと対話しながら指導が出来る



## ✓ドライバーひとりひとりをサポート出来るようになった

1人ずつ運転データが記録されるので、良いところ、改善すべき所が確認できるようになった

## ✓アイドリングの改善につながった

データで運転状況が記録されるためアイドリングの問題の大きく貢献してくれる

## ✓保険の割引率が大きくなった

やさしい運転を心がけるドライバーが増えにより事故が減少し、保険料が安くなった

## ✓車種別の情報が分かりやすくなった

車の大きさや構造の違いでそれぞれの安全運転の方法が異なり、これにより車種別の整理が出来ます。

## ✓燃費の改善が大幅にアップした

スムーズが良くなり、その結果燃費改善につながった



## ✓ 話題が豊富になり、話し合いやミーティングが増えた

以前は、運転手同士の共通の話し合いが少なかったが、点数やその他での会話が増えた

## ✓ 本社で安全管理の一元管理が出来るようになり、具体的評価方法を確立できた

営業所が多いため一元管理が出来にくかったのが、同じ条件でデータが出るため全社員の結果を本社にて管理指導できるようになった

## ✓ 安全効果、品質向上、燃費等の経済効果が出た


点数が向上しだすと運転の仕方が穏やかになり、必然的に経済効果が出てきた

## ✓ グレード制の導入

SRのいいところは、機器に慣れるには、やさしい運転をすると高得点が出る場所。数値化されることで、ドライバーの励みにもなるし、ステッアップの意識向上にもつながります。

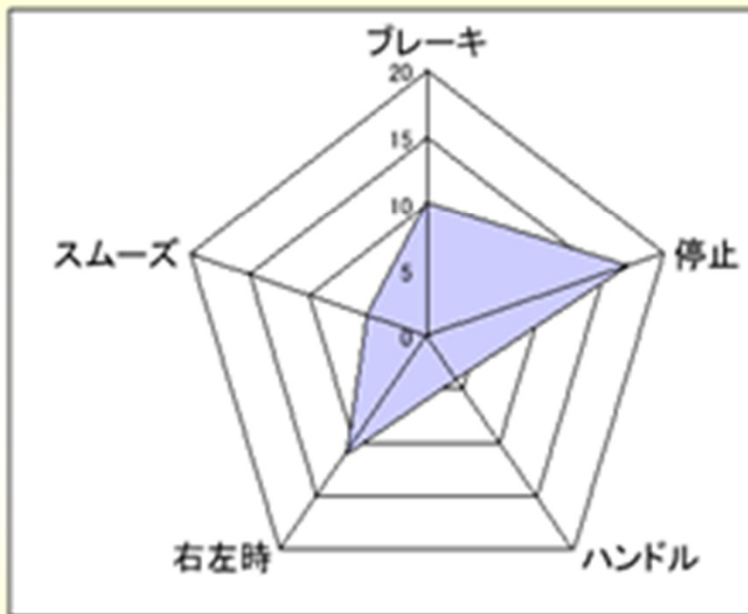


# SR活用後の変化

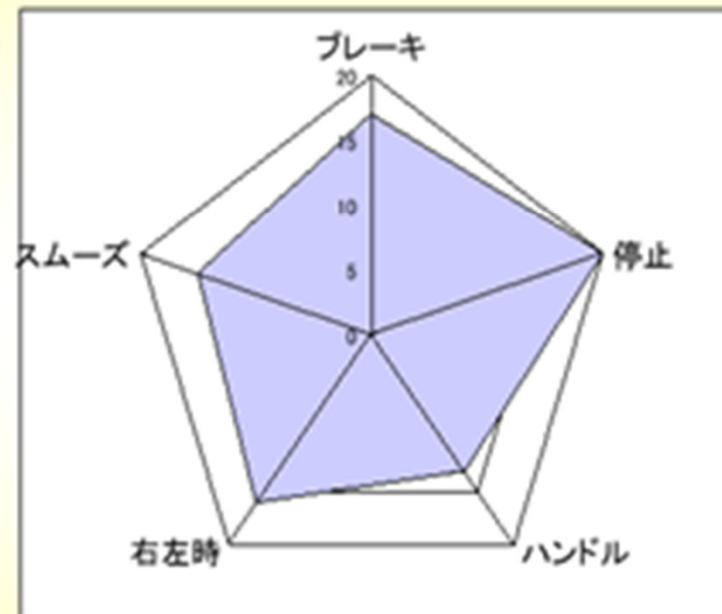
- SRデータを指標にした意識的な運転が事故減を実現
  - SRデータは、運転についての会話を創り出す！
  - 点数と目標燃料をクリアした上位ドライバーを表彰する
  - 点数を推移グラフにして、ドライバーと管理者が面談
  - 月間平均点数を、壁に張り出す
  - 指導書がでたら、運行管理者がその場で注意する
  - 叱るから褒めるための道具として
  - ドライバーの安全運転を記録している道具である
  - 燃費について個人別に目標値をきめグラフ化してる
- 

## 運転診断結果

26才 勤続1年6ヶ月のドライバーの場合



(取付直後)10月2日  
総合得点47点



(取付約2ヶ月後)12月8日  
総合得点81点